

「国益」なんてぶっ飛ばそう！



11/13 福岡で1万5千人が
玄海原発再稼働弾劾の大集会！！

「1%」の利益を守る 野田政権打倒！

◆「国益」＝資本家の利益だ！

野田首相はT P P（環太平洋経済連携協定）への参加をめぐって、「国益を最大限に実現するために全力を尽くす」と発言しました。日本経団連などの財界やマスコミもこれを全面的に賛美しています。野田首相はこの間、原発再稼働と輸出、消費税の10%への引き上げ、そして関税を撤廃して日本の農業を壊滅させ、労働者・学生にはますますの大失業と非正規職化を拡大させるT P Pへの参加などを次々と強行しようとしています。

政権発足から2ヶ月。私たちの怒りはもう限界です。「被災地のため」、「復興のため」と言いながら、野田政権のやっていることは「国益」＝「1%の資本家の利益」を守ることしか考えていないからです。

私たちは今まで、政府や資本家の叫ぶ「国家の危機」が、自分たち労働者・学生にとっても危機であるかのように思わされてきました。しかし、今の現実を見てください。「1%」が潤えば、「99%」も幸せになれる、そんなことは全部デタラメであったということが明らかになりました。

2001年小泉政権の登場と、「痛みを伴う改革を」のかけ

TPPで国益確保

野田首相は11日、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加を断念し、関係の悪化だけでなく、投資やサービスなど21分野にわたる交渉は、9か国の利害が複雑に絡み合う。日本は、早期にルール作りに加わり、国益につなげていく「攻め」の交渉戦略を明らかにした。（経産部 横竹保一、井岡秀行）

交渉参加表明

野田首相は11日、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加を断念し、関係の悪化だけでなく、投資やサービスなど21分野にわたる交渉は、9か国の利害が複雑に絡み合う。日本は、早期にルール作りに加わり、国益につなげていく「攻め」の交渉戦略を明らかにした。（経産部 横竹保一、井岡秀行）

21分野「攻守」が交錯

野田首相は11日、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加を断念し、関係の悪化だけでなく、投資やサービスなど21分野にわたる交渉は、9か国の利害が複雑に絡み合う。日本は、早期にルール作りに加わり、国益につなげていく「攻め」の交渉戦略を明らかにした。（経産部 横竹保一、井岡秀行）

TPP交渉21分野における日本の主な狙いと見通し

分野	見通し
貿易の自由化	日本の中小企業の貿易振興のため税関手続きを簡便にする
貿易の技術的障壁	安全な製品流通のため、安全基準や事故情報共有の体制を作る
電気通信サービス	新興国の通信市場に競争を促すルールを作り、日本企業の参入環境を整える
金融	中小企業のルール活用を促す手立てをつくる
衛生・植物検疫	日本の厳しい検疫の水準を維持する
貿易の自由化	外国政府によるアンチ・ダンピング（不当関税防止）課税の運用を厳格化する
越境サービス	日本企業の海外展開促進のため、途上国の市場自由化の範囲を広げる
雇用関係	ビジネスマンの出入国・滞在の手続きを簡便にする
金融	日本の金融の海外進出を後押しするため、不利な規制を取り除かせる
電子商取引	インターネット取引の原則を定め、海外でのビジネス環境を整備する
環境	環境基準を厳格にし、日本企業の競争力確保につなげる
制度の調和	今後の展開を見据え、対応を検討
紛争解決協力	日本企業の海外での活動を円滑化するため、新興国に人材育成などで協力する
物品の関税	日本の輸出品への関税をなくす一方、日本の農産品に一定の例外品目を認める
原産地規則	企業の生産・流通の効率化を後押しするため、関税をかけた「特産品の原産品」の定義を決める

声の下で、一体何が起こったのでしょうか。2001年から10年間で、正規雇用は500万人減り、非正規雇用は370万人増え、労働人口の全体の4割になろうとしています。結局のところ、資本家が莫大な富を独占して私腹を肥やす一方、労働者への大量首切り、非正規職化が吹き荒れ、

（裏面へ）

全学連

全日本学生自治会総連合（斎藤郁真委員長）

TEL 050-3036-6464 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp



毎年3万人が自殺している現実です。学生にはより一層競争が煽られ、すべては「自己責任」とされてきました。こうした社会のあり方が行き着いた先に、「3・11」と今の福島の実態があります。すべては「国益」の名の下に、「1%」の利益が優先された結果ではないのでしょうか。つまり、私たち「99%」にとって、「国益」とはまさに「百害あって一利なし」！「国益」は粉碎しなければなりません。

子どもたちを守ろうと闘っている福島のお母さんは、「原発を止める闘いは『命を大事にする人と、お金を大事にする人との闘い』」(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク・佐藤幸子さん)と言っています。私たち学生に求められていることは、「国益」を守ることではなく、この福島の怒りとともに闘うことです！

◆「99%」が主人公の社会を！ 全世界で反乱が始まった！

私たちは今まで、「行動しても変わらない」と思われてきました。しかし、今時代は変わろうとしています。

今年2月のエジプトでの独裁体制を打倒した労働者・青年の決起に始まり、今全世界で労働者・学生の反乱が始まっています。ギリシャでは11月7日、イタリアでは11月12日に政権が労働者・学生の怒りで打倒されました。そして、「俺たちは99%だ！」というスローガンを全世界に発信したアメリカの青年たちのウォール街占拠闘争は、国家権力との大激突に突入し、その波は全米に広がり、カリフォルニア大学バークレー校では、学費の値上げに対し、3000人がキャンパスを占拠する闘いに立ちあがっています(下の写真)。そして日本でも、原発への怒りが爆発し、9・19の

6万人デモが実現しました。私たちが今、全世界に示すべきは、「原発の安全」なんかではなく、「全世界の労働者・学生の団結で原発をなくし、社会を変えよう！」ということです。私たち「99%」が団結し、「1%」による支配を終わらようではありませんか！

◆原発の再稼働阻止へ！ 12・10日比谷に集まろう！

去る11月6日に行われた全国労働者総決起集会は、9・19の6万人デモを引き継ぎ、全国・世界から6000人が結集しました。原発と失業への怒りが爆発し、野田政権打倒の火柱があがりました。その先頭に福島・被災地と、労働組合が立ちました。集会では、学生を代表して法大の斎藤郁真君(全学連委員長)が、「私たち学生の未来は、労働者との連帯の中にあります」と発言しました。そしてこの集会には、福島大学の学生も合流しています。私たち法大生は、福大生と団結し、キャンパスで立ちあがろう！

そして今、最大の焦点は原発再稼働を絶対に阻止することです。野田政権は、福島原発事故に何の責任をとらず、子どもたちに殺人的な被曝を強制し、モルモットにしようとしています。この国家による「犯罪」に加担しているのが大学の御用学者です。腐った理事会や教授連中から、大学を取り戻さなければなりません。その先頭に、私たち法大生が立とう！12・10の反原発大デモが呼びかけられています。すべての法大生は、日比谷野音に大結集しよう！

キャンパスから、野田政権打倒！ 原発再稼働阻止！ の大行動を巻き起こそう！



「再稼働阻止！全原発廃炉」に向けてキャンパスから行動を！

① 原発反対の大デモに参加しよう！

12/10 日比谷野音集会

【要項】12月10日(土) 日比谷野外音楽堂 13:30~集会・パレード

② 署名と一言メッセージに 協力お願いします！

